

2024 年度 第 5 回理事会議事録

I. 会議名 : 2024 年度（公社）日本地すべり学会 第 5 回理事会

II. 開催日時 : 2024 年 11 月 29 日（金） 13 時 00 分～14 時 45 分

III. 開催場所 : WEB会議

IV. 出席者 : 理事出席 16 名, 監事出席 2 名, その他 3 名

役職	氏名	出欠	役職	氏名	出欠	役職	氏名	出欠
理事	浅野 志穂	○	理事	岡田 康彦	○	理事	杉本 宏之	×
理事	新井場 公德	○	理事	笠井 美青	○	理事	堤 大三	○
理事	飯沼 達夫	○	理事	加藤 猛士	×	理事	中村 真也	×
理事	石丸 聡	○	理事	木村 一成	○	理事	林 一成	○
理事	稲葉 一成	×	理事	佐藤 剛	○	理事	古谷 元	○
理事	今泉 文寿	○	理事	佐藤 浩	○	理事	森口 周二	○
理事	王 功輝	○	理事	柴崎 達也	○	(理事 16 名, 定足数 11 名)		

監事	竹下 航	○	監事	木村 勝美	○	(監事 2 名)
----	------	---	----	-------	---	----------

事務局	鈴木 英則	総務部	藤元 亮	新潟支 部	渡部 直喜
(その他 3 名)					

○理事会開催時における理事の出席数は 15 名。定足数 11 名（理事の過半数）を満たし理事会は成立。

○佐藤 剛 理事は、報告事項-1 の途中より参加（出席理事 16 名）。

○森口理事は、報告事項-5 の終了後、退席（出席理事 15 名）。

○議事録署名人は、浅野会長、竹下監事、木村幹事。

<議長あいさつ>

浅野会長が開会のあいさつを行った。

議題Ⅰ．審議事項

1. 2025・2026 年度支部別代議員数と選挙管理委員の選任

林理事より、2025・2026 年度支部別代議員数と選挙管理委員の選任についての説明がなされた。

- ・ 代議員が役員候補者となる可能性がある場合や会員数が増減することを考慮して、上限の人数を選定するということであるが、会員数が減った場合、上限人数（正会員18名の中から1名の割合）をオーバーする可能性もあるように思われるが、問題ないか。
→定款では「概ね正会員20名の中から1人の割合をもって選定する」とされており、規則・細則においても、いつ時点の割合かは定められていない。万一会員が多数退会した場合は、定款のとおり、その次の代議員選挙の際に代議員数を変えればよいので、特に問題はないと判断している。
- ・ 審議の結果、賛成15票、反対0票で承認された。

2. 中部支部の長野県からの「技術指針改訂」業務委託

堤理事より、中部支部の長野県からの「技術指針改訂」業務委託についての説明がなされた。

- ・ スケジュールについて確認させて顶きたい。
→現在、準備作業を進めているところで、来年度末までを予定している。
- ・ 中部支部での実施体制について確認させて顶きたい。
→支部の事務局、企画部のメンバー中心での実施体制を計画している。
- ・ 審議の結果、賛成15票、反対0票で承認された。

3. 入退会者状況

鈴木事務局長から、入退会者状況についての説明が行われた。

- ・ 入会者についての審議の結果、賛成15票、反対0票で承認された。

議題Ⅱ．報告事項

1. 宮城大会実施報告

森口理事より,資料に基づいて報告がなされた。説明後の理事からの意見及びその後の質疑・応答は以下の通りである。

- ・ W e b 参加を実施しての感想を教えてください。
→対面参加が多く, W e b 参加人数が少ない状況にあった。W e b 参加が少ないため参加者当たりのコストが割高となったことが課題と考えている。
- ・ 新技術セッションが多い結果となったが,工夫した点はあるか。
→東北支部の賛助会員等にお声がけして広報して頂いたことにより,増えたと感じている。非賛助会員が多い傾向にあるため,賛助会員になっていただく取り組みも必要と考える。
- ・ 申込みシステムについての問題等はあったか。
→負担等が大きかったという話は聞いていないため,特に問題はなかったと思う。受付のQ R コードは非常に効率的であったので,次回も取り入れるべきだという意見がでていた。
→申し込みシステムの問い合わせ対応等について,従前は支部が行っていたが,現在は業者が実施するようになっているため,これによる負担軽減もあると思う。
- ・ コロナ禍の影響もあり,これまで赤字だったが黒字化しており,感謝申し上げる。宮城大会でのノウハウを次回以降に伝えて頂きたい。
→実施報告書に,出来るだけ詳細に記載するようにしたい。

2. 学会誌の広告取扱に関する委託先変更

岡田理事より,資料に基づいて報告がなされた。

- ・ 理事からの意見は,特になかった。

3. 会長,副会長及び専務理事の職務執行状況

浅野会長,石丸副会長,飯沼副会長,新井場専務理事から職務執行状況についての報告が行われた。

- ・ 理事からの意見は,特になかった。

4. 「ベトナム災害義援金」の募金活動

林理事より,資料に基づいての報告がなされた。

- ・ 理事からの意見は,特になかった。

5. 海外研究者による講演会（国際部）

佐藤(浩)理事より、資料に基づいての報告が行われた。説明後の理事からの意見及びその後の質疑・応答は以下の通りである。

- ・ アナウンスをどのように実施する予定か確認させて顶きたい。
→地すべり学会誌での会告，メーリングリストでのアナウンスを実施する予定である。

6. 地すべり学会への共催・後援依頼

新井場専務理事より、資料に基づいて報告がなされた。

- ・ 理事からの意見は、特になかった。

7. 地すべりブロック勉強会（仮称）

林理事より、資料に基づいて報告がなされた。説明後の理事からの意見及びその後の質疑・応答は以下の通りである。

- ・ 参加費無料となっているが、支出が発生するため、受益者負担で会費を徴収してはどうか。
→今年度は、会員数対策費としての予算を確保している。次年度以降、収支を考慮して会費を徴収することも検討したい。

8. その他

（1）能登半島災害調査

古谷理事より、能登半島災害調査団による調査の実施状況についての報告があった。

- ・ 理事からの意見は、特になかった。

（2）支部間連携について

飯沼副会長より、支部間連携に関する下記の報告があった。

- ・ 支部間の連携の一環で支部長会議を実施している。
- ・ この支部長会議での支部のイベントの周知を行い、全国から参加いただくように工夫し支部間連携を促進させて頂きたい。
- ・ 報告後に中部支部で11月8日に開催されたハイブリッド開催のシンポについての意見交換があった。

（3）財政健全化に向けた議論の実施について

浅野会長より、財政健全化に向けた議論の実施に関する下記の報告があった。

- ・ 各部・支部で検討頂いた予算を基に、財政化の健全化に向けてどのような取り組みを予定しているか、直接議論させて頂きたいと考えている。
- ・ 上記を踏まえ、3月理事会はハイブリッド形式での開催を予定している。
- ・ 報告後の理事からの意見は特になかった。

以上

議事録署名人 会長 浅野 志穂 ㊟

議事録署名人 監事 竹下 航 ㊟

議事録署名人 監事 木村 勝美 ㊟